

くつろぎの家

vol. 33 かわら版



今月のひとりごと (K)

もうすぐ春休みです。でも、うちの子供たちは預かり保育をお願いするのでほとんどの日を登園します。預かり保育ってとても勉強になっていると思います。草取りをしたり、花や野菜の水遣り、先生のお手伝い…。それに年上のお兄ちゃん、お姉ちゃんに知らない事を沢山教えてもらい、「なあなあ、今日〇〇ちゃんが、これを教えてくれたんで〜!!」と嬉しそうに教えてくれます。そして、下の子供たち(保育所)の面倒も見ているようです。私が遅いときは一緒に遊んでいます。本郷幼稚園は保育所と同じ建物なのでそういう体験が出来るのでしょうか。ありがたい事です。

話は変わりますが、一昨年位から意識して使っているものがあります。洗濯槽や洗濯物を清潔に保ち、かつ川に流れていく水も綺麗にするというもの。何と、ホタテの殻を粉にしたものなんです。山積に放置されてゴミ扱いだったホタテの殻が、まさか有効活用されるなんて!!素晴らしい!使ってみると確かにスッキリとした匂いになります。それに自分も地球のために何かしている気になります。

今年は暖冬?雪もほとんど降りませんでしたね…。今年の夏は飲み水が足りるのでしょうか???川を見るたびに不安になります。以前、主人がお盆、お正月に給水活動で休み無しだったのを思い出します。それに地震が多い事…日本だけでなく世界中。地球ってどうなるんだろう。なのに、核兵器は売買されていて、戦争は終わらない。あんな核爆弾が地球に落ちていたら、地球もたまったものではありませんよね!!…と、かなり突飛な発想ですね…。

保育所に通っている息子はお兄ちゃんたちと新聞紙の鉄砲を作って遊ぶことに夢中です。おもちゃ屋さんで「お母さん、鉄砲買っていい?」と言うので「お母さん、鉄砲嫌い!」と言って別のおもちゃを選ばせたのに…新聞紙で手作りしていたら、手先が器用になるし、想像力が育つかなあ?な〜なんて、矛盾していますねえ…。

何だか今回は色んな事を書いてしまいました(^_^;)

第1回 管理の良し悪しで、住まいの寿命も資産価値も大きく変わってきます

定期的なメンテナンス(定期健康診断)を心掛けましょう。

メンテナンスは、クリニックでいえば“定期健康診断”です。

健康診断の結果、不良箇所が発見された場合には修繕等の適切な処置を速やかに行いましょう。

メンテナンスによって、大切な住まいを「安全で快適で健康」に保ち、資産価値を維持することができます。

メンテナンスの方法

住まいを長持ちさせる為には、(1)1年ごとの日常点検(2)5年ごとの中期点検(3)10年ごとの総合点検を繰り返し実施して、住まいの状態を把握し、適切な処置をします。またそれを記録に残しておきます。

	1年ごとの日常点検 (住まい手が主体)	5年ごとの日常点検 (専門家・業者の登録)	10年ごとの日常点検 (専門家・業者の協力)
部位	<ul style="list-style-type: none"> 屋外(外壁・屋根・ベランダ) 屋内(床・壁・天井) 建具 設備(給排水・電気・ガス) その他(異臭・カビ・音・害虫) 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外(外壁・屋根・雨樋・軒裏・塗装) 屋内(床・壁・天井) 建具 設備(給排水・電気・ガス) 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外(基礎・土台) 屋内(床組・柱・壁・天井・小屋組) その他(防水など)
目的	住まいの傷みやすい部分の点検です。床材や壁材の傷や反り、建具・金具の不良、雨漏りの形跡など日常生活の中で異変がないかを目でチェックします。	見えない所の異常の発見が目的です。内外装や基本設備などを点検します。	住まいの本体の維持が目的です。住まいの構造的な部分の計測、点検をします。
処置	簡単な処置は、自分で。ただし、設備の異変や雨漏りは自分で判断・工事せず、早めに施工会社に頼みましょう。	見えない所の異常の発見や処置は、素人には難しいので、専門家・業者に任せましょう。	床の沈下や傾斜、壁・天井のたわみなどの計測は、信頼のおける専門家に依頼しましょう。

まずは、自分でやってみましょう。網戸の張替えぐらいなら、工具さえあれば難なくできます。逆に、設備や構造に係わる部位、性能に影響を与える部位、危険な部位は、素人工事は禁物です。その家の設計や施工に携わった、設計者や現場監理者に定期的に点検してもらいましょう。それが出来ない場合、建築士や施工監理士等の有資格者の検査も可能です。部位によっては塗装や電気・設備等の専門家の点検も必要になります。1日で出来る健康診断もあれば、1~2日入院して行く健康診断もあるように、点検も建物の目視だけで済むものと、計測機器で計測したり、時には手術のように床や壁をはがしてみなければわからないこともあります。基礎、躯体、床・壁・天井・屋根は、計測や処置(手術)が必要な場合があり、建具や階段などは目視で判断できることが多く、設備類は特殊機器による計測が必要となります。

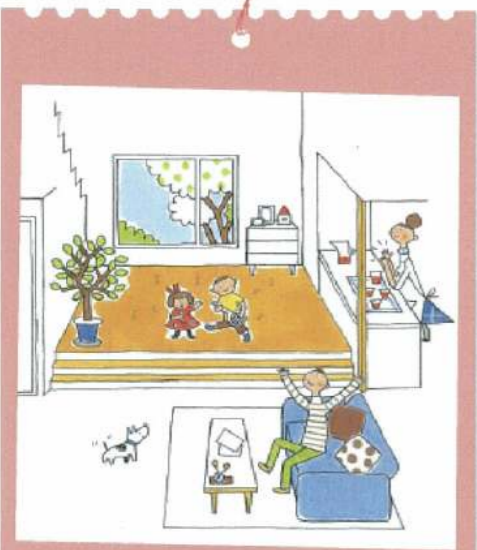
メンテナンスの記録を残しましょう。

メンテナンスを行ったら、それにより発見された不具合や処置の結果を、カルテのように記載・保管しておきましょう。計画的なメンテナンスや将来の「資産価値」の評価に役立ちます。

1月&2月

ココちゃんちのお手入れレシピ

フローリング編



お酢を使って床掃除!

水が苦手と言われるフローリングですが、表面のほこりや皮脂の汚れを落とすには水拭きがやっぱり気持ちいいもの。そのときにお酢を使うことで、殺菌効果もあるうえに、からだにも安心です。

リビングを、酢っ酢っで床掃除。



【用意するもの】

酢、水、スプレーボトル、フローリングワイパーまたはクロス、ティーツリー等のアロマオイル(お好みで)

【Let's Clean!】

- お酢カップ1に対し、水カップ2~3の割合でよく混ぜ、ピネガー水をつくります。
- 窓を開けて風通しをよくしたら、お掃除スタート。
- ピネガー水をスプレーボトルに入れ、しゅっと床にひと吹きしたら、乾いたお掃除クロスでさっとひと拭きします。
- クロスにピネガー水を含ませて硬くしぼったもので拭き掃除しても、もちろんOK。
- 二度拭きいらずでお掃除完了。気分もすっきり、清潔感のある床になります。

【POINT!】

- ◆酢のにおいが気になる方は、ピネガー水にティーツリーなど殺菌効果のあるアロマオイルを2、3滴振り入れておけば、さわやかな香りも楽しめます。
- ※アロマオイルは刺激が強いため、赤ちゃんや妊婦さんのいるおうちでは避けましょう。
- ◆酢は「食酢」として売られている醸造酢を使ってください。調味料が入っているものは避けましょう。
- ◆無塗装の無垢材の場合は水分が染み込む場合がありますから避けてください。



住宅エコポイントについて

3月8日より、住宅エコポイント制度が始まりました。エコ住宅の新築、エコリフォームの2種類があります。それぞれに条件、期間等がありますので、判りにくいところは弊社にお問合せください。

株式会社 上山住建

ユ-
u.ホーム

新見市哲多町本郷568番地の1

TEL 0867-96-2920

FAX 0867-96-2888

<http://www.ueyama-kuturogi.jp/>